

鯖江市議会報

第217号

平成28年5月25日発行
鯖江市議会広報委員会

TEL: 53-2249

E-mail: SC-Gikai@
city.sabae.lg.jp



議長あいさつ

先般の定例会本会議におきまして、議長に就任いたしました。本市の厳しい社会情勢や財政状況の中で、多様化する市民の皆さんの声に応え、心豊かで安心して生活のできる市政の発展と住民福祉の向上を目指し、全議員と力を合わせて取り組んで参りたいと思っておりますので、皆様方のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

議長の紹介



小竹 法夫 氏

【略歴】

平成19年7月初当選。副議長、議会運営委員長、総務委員長、教育民生委員長などを歴任。3期 杉本町

議会選出監査委員



末本 幸夫 氏

【略歴】

平成11年7月初当選。議長、副議長、建設委員長、議会運営委員長などを歴任。5期 水落町4丁目

鯖江市議会 議会報告会



小竹法夫議長あいさつ

議員の真剣な活動についての基本方針を定めた議会基本条例を平成25年6月に制定させて頂いていただきました。その条例で議会報告会を毎年開催することと定めております。市民の皆さまの色々なお考え、ご意見を頂き、これからの議会運営に反映させてまいります。議会報告会を含む議会改革を重ねることにより改革の実を上げていきたいと思っております。

有意義な議会報告会となることをご期待申し上げ、開会の挨拶いたします。



平成28年3月23日(水)
会場 中河公民館
時間 午後7時30分～9時



平成28年3月25日(金)
会場 吉川公民館
時間 午後7時30分～9時

委員会による報告

総務委員会

委員長 平岡 忠 昭

☆平成28年度一般会計歳入予算について

- ・ 人口増加により市税の増額に繋がった
対年度当初予算比 3.4%増 90億円
- ・ 一般会計目的別歳出説明
当初予算 259億1千万円

☆鯖江市における今後の人口ビジョン

- ・ 合計特殊出生率の推移
- ・ 出生と死亡の推移

産業建設委員会

委員長 佐々木 一 弥

☆新レッサーパンダ舎について

新レッサーパンダ舎は「人・自然・パンダとの関係を育む」をコンセプトに「パンダの生態がわかる展示」「美しい自然景観に溶け込む風景をつくる」「居心地の良い場所をつくる」3つの方針を柱に空間をデザインした建物を説明

☆地方創生加速化交付金事業について

- ・ 次世代産業創造支援事業 3億円
地域資源を活かした新分野進出支援 1億8千万円
- ・ “さげえ発” 匠の技海外戦略事業 5千122万円

地域企業の国際力強化
海外への情報発信強化
産地受け入れ態勢の整備

- ・ 漆文化世界遺産登録に向けた取り組み
- ・ 丹南伝統工芸5産地連携未来プロジェクト
鯖江市負担 2千312万円

☆高機能情報通信対応 防災行政無線について

- ・ 放送内容と設置場所について説明
予算8千万円で6基

☆福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗り入れ効果

- ・ 通学・通勤による乗継解消
- ・ 運行時間の短縮

教育民生委員会

委員長 佐々木 勝久

☆一般予算目的別歳出

教育民生委員会該当分

124億4千216万円

- ・ 学校施設耐震化状況
- ・ 学校施設大規模空間非構造部材耐震化状況

平成27年度で耐震化が終了した説明
☆総合体育館改修工事について

- ・ 耐震補強工事およびトイレ改修等
 予算額 5億円
- ・ アリーナ床改修工事
 5千800万円

平成30年に開催される福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の会場になります。

総合戦略等特別委員会

副委員長 佐々木 勝久

☆北陸新幹線金沢・敦賀間開業後の特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書について

北陸新幹線事業を取り巻く情勢の変化に対応するため上京し、金沢・敦賀開業後も福井駅まで「サンダーバード」「しらさぎ」を存続させることを福井県ゆかりの国会議員7人に協力を求めた。

自由討議の中から

Q わが町は新幹線が通ると町内が分断される。市からは対応すると返答をもらっているが、心配している。

A 各町内の要望は全て聞いている。一定の基準のもとで配慮がなされるが、問題はその基準づくり。28年度中にはつきりさせることになっている。

Q 地方創生で「情報、人、金を国から頂いた」との話だが、人、金の具体的な説明を。

A 「人」は三上地方創生統括監が財務省から2年の出向で来られた。「金」は、先行型交付金、加速化交付金として100%国の補助で約2億円を頂いた。次世代産業創造支援、匠の技海外戦略事業、丹南伝統工芸5産地連携未来プロジェクトとして地方創生、産業振興を図っている。

AQ 28年度の教育費が大幅に落ちた理由は、小中学校の耐震化や鯖江公民館等の大型工事完了により前年比11億円減になるが、子供たちの教育に影響を与えるものではない。

Q 吉川地区は産業道路、通学道路、生活道路が混在し、見通しの良い所でも事故が起きている。子供たちが事故の巻添えにならないか心配だ。

A 小学校の通学路は点検が行き届いているが、問題は中学生の通学路。また、運転マナーの問題も残る。地区上げての運動にしなければならない。

ご意見や要望をいただきました

- ・ 行政報告会であって議会報告会ではないように感じる。
- ・ 日頃の活動の中での市民からの質問や意見なども取り入れ、より身近な内容での説明報告を。
- ・ 議会で決まったことを報告するのも大切だが、市民が議論できる場の設定を。
- ・ 今後定期的実施していけば理解が深まると思う。
- ・ 西山公園横の駐車場が不足しているのではないか。
- ・ 丹南がまとまって地場産業をつくる。そして観光ルート開発を。
- ・ 市の歳入歳出について初めて説明を聞き、概略はわかかったような気がする。
- ・ 地産地消等、農林業についての政策の説明がほしい。
- ・ 市の人口増加に向けて大きな企業の誘致は？
- ・ 市の将来構想について、より具体的な報告を。
- ・ 人口減少対策、青少年育成対策（児童虐待対応策等）等の事業説明が少ない。
- ・ サッカーなど自由に使える広場（公園）が少ない。…など

貴重なご意見をありがとうございました。

中河公民館72名・吉川公民館55名のご回答

アンケート集計 (127枚)



☆一般参加者

127名(うち女性11名)
 会社員 48名
 自営業 23名
 公務員 2名
 無職ほか 54名

☆年齢別

40歳代 19名 50歳代 27名
 60歳代 64名 70歳代 17名

☆説明内容について

ほとんど理解できた 21名
 少しは理解できた 83名
 理解できなかった 9名

☆説明並びに意見交換の時間配分は

ちょうどよい 52名
 説明時間が足りない 47名
 意見交換時間が足りない 7名

☆次回も参加したいですか

ぜひ参加したい 10名
 都合が合えば参加したい 89名
 どちらでもない 22名

3月定例会 一般質問



市政同志会
佐々木勝久 議員

問 論手川の改修計画及び吉野瀬川の放水路・現堤防かさ上げ工事の進捗状況は？

非常に重要。地元の方々と十分協議し県へ重点要望として早期整備に努める。

要望 吉野瀬川については、県へ鯖江市の考

答市長 論手川は、今年基本計画を立て平成28年度は国の審査に入る。その後、土地改良法による地元の手続きに入り平成29年度実施計画を立て工事にかかる。吉野瀬川は、平成28年度に放水路から日野川に流れる掘削を行い分水樋門の工事にかかる。平成29年度に放水路が完成し、その後、現川部の堤防工事にかかる。1日も早い着工に向けて、現工事の進捗を早める事が

え方・地元の思いを伝える平成29年度に放水路完成次第着工する要望もしているとの事、是非、地元の要望として強く願う。

問 防災行政無線の整備計画は？

答市長 昨年9月茨城県常総市の鬼怒川決壊大変な被害だった。いかに早く避難するか大きな問題。災害が起きたら必ず逃げるという事で、完全に考え方を

変えなければいけない。そういう事も思い西部に6カ所位整備し、大體日野川流域はこれで届くと思う。現在東部につけていいるのも、雨・風等の音に消される。情報伝達手段はそれだけに頼るのではなく、幾つもあるといい。色んな情報伝達手段を通じて、安全、安心できるまちづくりで設置したい。

要望 この6カ所で西部地域が全域確保される事ではなく、日野川流域ということで、他の地域、設置されていない所の意見、要望ある。地域の皆さんに色々な形で情報提供を頂きたい。



市政同志会
福原 敏弘 議員

地方創生交付金について

問 地方創生交付金の今までの流れと今後の方向性に関して。

国が全額補助する地方創生加速化交付金1千億円が計上され、本市においては1億434万9千円を申請している。

答 国の平成26年度の補正予算において、国が全額を補正する地域住民生活等緊急支援のための交付金、いわゆる地方創生先行型交付金1千700億円が計上された。そのうち本市においては、先に交付された基礎交付金分と上乘せ分、合わせて総額9千903万7千円の交付決定を受けた。また、国の平成27年度の補正予算に関しては、1億総活躍社会の実現に向けた緊急施策として、

平成28年度当初予算におきましては、地方自治体における総合戦略の本格的な推進に向けて、地方創生の進化に向けた自主的・主体的な取組を支援するため地方創生推進交付金1千億円が計上され、この交付金の対象となる事業には国と同額の地方負担が求められている。すなわち、事業ベースでは2千億円という交付金規模となっている。

でいく次世代育成の新産業創造とは、チタン加工技術の世界的な技術を生かしたもので、メデイカル分野、医療分野とウェアラブル端末分野に対して鯖江に新しい産業創出をして若者が就職していただけるような雇用の場を作っていく目標である。もう一つは、ITと伝統産業のまちづくりで、慶応大学との連携の中で、既に若手デザイナーとコラボして河和田の漆の作品開発をし3Dカッター、3Dプリンターを使用して造形したものウェブ上で公開している。今後もステージ2、ステージ3という形で進めていき海外展開に向けていきたい。

答市長 先行型予算と加速化予算で取り組む



公明党
遠藤 隆 議員

生活習慣病対策について

問 本市において特定診査項目の中で受診勧奨判定値の方や治療中の対象者にレセプトを活用、健診値を見直し積極的に訪問指導事業の実施をしているが、その狙いと効果を問う。

答 訪問指導事業の狙いと効果については、生活習慣病の重症化予防と医療費の増大を抑制することを目的に平成25年度から実施している。平成27年度は前年度の特定健診の結果により、腎機能低下により専門医への受診が必要な方や、血糖値が高く、糖尿病の疑いある方230人、また、平成26年度の訪問対象者で引き続き管理栄養士による栄養保健指導介入の必要な方など112人、合計342人を対象に訪問を行っている。医療機関にかかっていない方の指導内容は、面接により生活面の聞き取りをし、健診結果を踏まえ食事や運動等についての生活習慣改善の目標をたて、紹介状を作成し医療機関への早期受診を勧めている。医療機関受診に受診されている方には治療中断防止を目的として医療機関からの情報提供を受けながら継続して取り組めるよう生活習慣改善の指導を実施している。成果として平成25年度と26年度の訪問対象者約700人の中で、医

療機関の早期受診が必要と思われる方118人のうち訪問面接指導等により83人の方が医療機関の受診、治療を受けることにつながることができた。

問 事業評価はどのよう

答 単年毎に委託し、年度末には実績報告会

を実施している。その中でいろいろ聞き取ったことや感じたことも

報告をいただき、一定の成果は出てきている。

問 平成28年度の実施計画は。

答 この訪問事業は、より専門的な管理栄養士の資格を持った職員が行っており、人材に限られますので、民間の事業者

に協力委託している。新年度についても事業内容を改善しながら取り組んでいく。



市民創世会
石川 修 議員

福井しあわせ元気大会について

問 国体については、開催自治体も積極的に関与し周知等されているが全国障害者スポーツ大会においては余り聞かえてこないのが現状。今後は国体同様に周知活動するべき。

答 大会については実施主体が県になっており、県の方でポスター、情報誌、行事などで周知活動を行っている。現在まで市としても一体となって行っている。今後も県の実行委員会と連携しながら、周知活動を行っていききたい。

問 各学校に国体の横断幕が掲げられているが全国障害者スポーツ大会については何もな

答 会場となるサントーム、西番スポーツセンターを県の方で今年度まで2回点検を行っ

い。市も県の大会実行委員会の一員として、進言すべきと考える。また各自自治体で開催される競技については、名称だけではなく、競技内容についても今後周知していくべきと考えるが。

答 市の実行委員会の総務企画委員会において、広報関係を取り扱っており、今後その中で十分検討して周知を進めていきたい。

問 障がい者の方の大会ということで、会場のバリアフリーは大丈夫なのか、また整備計画は。

答 会場となるサントーム、西番スポーツセンターを県の方で今年度まで2回点検を行っ

た。両施設ともに、トイレに一部不備があり改修をしていく予定。

問 情報支援ボランティアが不足していると聞いているが現状と市としての対策は。

答 不足していると聞いている。市の方では社会福祉協議会の方へ手話通訳ボランティア養成講座を委託している。平成25年から27年にかけて40人の方が終了されており、終了された方には、情報支援ボランティアへの登録をお願いしている。これからも県と市の福祉担当部署と連携しながら、ボランティアの育成に取り組んでいく。



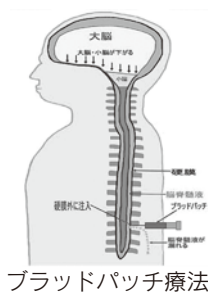


公明党
奥村 義則 議員

脳脊髄液減少症について

問 脳脊髄液減少症という病気に對する市の認識は。

答 交通事故、スポーツによる外傷、転倒などが原因で脳脊髄液が減少し、頭痛や全身倦怠感、めまい、吐き気など全身症状が現れる疾患である。有効な治療法は患者本人の血液を採取し、脳脊髄液が漏れている箇所に入するブラッドパッチ療法がある。



問 何らかの原因で脳脊髄液が減少し、頭痛

対応について事務通達
がされておりませんが、
当市の対応は。

答 文科省の事務連絡を受け、スポーツ外傷にかかわらず、児童生徒の身体に関わる何らかの事故が発生した場合にも、発現する症状によつては脳脊髄液減少症の可能性もありうる症状があれば、保護者と連携して速やかに専門の医療機関に受診勧奨など学校職員への周知を図り、脳脊髄液減少症への理解を深めるよう努めてきたところだ。また、このような症状がみられる児童生徒がいる場合には、養護教諭を中心として学校全体で臨み、学習時を含め、学校生活面でも配慮するよう適切な対応を務めるよう指示してまいりたい。

やめまいといった症状が表れ、ブラッドパッチ療法が有効であると主張されたのは16年前（平成12年）のことである。そして、平成19年年によつてやく国は脳脊髄液減少症、ブラッドパッチ療法の研究が開始となる。そして、平成24年には先進医療に承認され、その後の1年半における実績報告では、527件の症例に對し432件（82%）が有効と報告されたことから、厚生労働省は本年4月からブラッドパッチ療法が保険適用となることを発表しました。一方、平成24年に文科省は学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な

「健康づくり推進条例」について

問 私が提案してきた「健康づくり推進条例（案）」が今議会で上程された。その主な概要と目的とするもの説明を求む。

答 「健康づくり推進条例」は、長期的な視点から法的根拠を有する形で定め、市民総ぐるみで健康づくりの気運を醸成していくこととするものです。地域の一体的な取組を前進させ、市民一人一人が生涯にわたり、心身ともに健やかに暮らしていくことができる地域社会の実現を目指すもので、市全体の活力、福祉の向上につながると考えている。

市民創世会
山本 敏雄 議員



問 子供たちの視覚機能検査の充実を訴え、「目の健康づくり」を推進するようになつた。その具体策を問う。

答 平成27年4月から3歳児を対象に視力検査機器を導入し、視力検査を実施しているが、従来2〜3名の眼科治療を要する結果だったが、本年1月現在9名の子供が治療を要する結果が表れてきた。治療後の子供たちが非常に落ち着きを見せ、遊びや集団活動に取り組みめるようになったと聞いている。3歳児健診の機器による視力検査の実施の効果はあつたと認識している。

答 教育長 小中学校とともに、養護教諭、学校



保健部会を中心に、目の健康を守る3カ条を提示し日々の実践に取り組んでいる。児童の保健調査票に、近くのものが見えにくいなどの近見視力異常に関する項目を追加するとともに、学校生活の中で、気になる児童生徒に對して、近見視力異常の簡易検査を実施し、必要に応じて保護者と相談、専門医の受診をするように指導している。学校での休み時間に眼球運動のトレーニングを取り入れるようにした。目の健康づくり推進事業としてこれまでの学校の取組を拡充していきます。



清風会
林 太樹 議員

地方創生推進交付金について

問 鯖江市の総人口は2060年には約5万人あまりまで減少すると推計されている。市の財政は逼迫し市民生活に重大な影響を及ぼすことになるが、新型交付金の予算措置の概要は。

答 アンケート調査では、区長など三役の女性役員は147%。班長などは172%で町内会での意思決定への参画機会が少ない実態が見受けられる。

問 本年は総合戦略を実行に移す年で、平成27年度3月補正予算と平成28年度当初予算で31億6千万円を計上、総合戦略に掲げた主要な14事業については着実に実行して行く。

問 本県は共稼ぎ率60%で全国1位。今や女性は家計において重要な働き手である。例えば女性役員にインセンティブを与え、地域の実態を肌で感じ責任を持って町内会運営に携わって頂く、真の男女共同参画社会を地域に根差した施策とすることが先決ではないか。

答 現在一部の地区で町内会役員に女性を登用する取組が始まっている。今後とも市区長会連合会と連携しながら研修、啓発などを継続的に進めていく。

農業政策について

問 2年後の減反制度廃止による、米生産農家への影響と対策は。

答 市長 平成30年度米から生産調整の目標が廃止され、直接支払交付金7千500円も廃止されるので大きな問題。本市は中小規模農家が多く、生産から販売まで一貫した農家は経営農地全面に主食用米を

作付し、作業効率と収入の増加を図ると予測される。しかし益々米離れが進むことから、米価の下落が予想される。持続できる農業経営を国が示すことが不可欠で、主食米一辺倒の本市の農業を転換することが必要である。



市政同志会
佐々木一弥 議員

元気さばえっ子・ゆめみらい債について

問 公募債「元気さばえっ子・ゆめみらい債」を活用するきっかけ、また目的は。

答 平成23年に、第1回目の住民参加型市場公募債を発行しました。この時は、金利が高く銀行で市債を借入れ、10年から15年の償還期間で利子を払い続けるよりも、減債基金を活用し短期で市債を償還し、利払いを抑制して財政の健全化を図ることを考えました。

問 公募債「元気さばえっ子・ゆめみらい債」を「元気さばえっ子」に置き換えて、平成27年度には、若者の行政への参加意識の向上を狙い、休日販売のほかに新成人販売枠を設けました。

意見 新成人枠の取組ですが、販売額を一口10万円を5万円にしてはどうか。

問 平成23年度発行分の返済が本年度だが、返済はどのようになるのか。

答 減債基金の取り崩しと、10年の縁故債としての借り換えを行い、元金均等償還で返済していく。ゆめみらい債は5年満期で、一括返済となり一度に多額の償還財源が必要となりますので、発行額の半分をめどに減債基金へ積み立てていきたい。

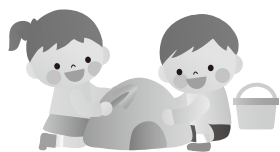
問 この資金調達方法は、本当に財政負担の軽減となっているのか。

答 通常ならば、約15年償還で借入れをするが、ゆめみらい債の発行と10年の縁故債への借り換えとした場合では、支払う利子の総額で両者を比較した場合、ゆめみらい債を発行した方が支払う利子が少なく、財政負担の軽減となる見込みです。

男女共同参画について

問 町内会での女性役員などの活動実態は。

答 現在一部の地区で町内会役員に女性を登用する取組が始まっている。今後とも市区長会連合会と連携しながら





市民創世会

木村 愛子 議員

「若者が住みたくなるまちの創造」への取り組みについて

内、交通手段、地域情報、食事の問題など提案を受けた。

問 伝統工芸とITを活かし、国際力強化、海外への情報発信、受け入れ体制の整備、漆文化世界遺産登録に向けた事業など、産地の態勢や地元民がどのように関わることか。

外国語が出来る住民ネットワークや福井大学国際地域学部提携、地域の食団体、ボランティアと連携し、環境整備を進める。ラポーゼかわだのトイレ洋式化など検討する。

地域で支える子育て支援

問 学童事業充実の恩恵を受けられない子、孤食や食事が取れていない子の地域が一体となつた子どもの声が聞こえる居場所づくりを望みたいが、ご所見を。

答 世界に産地情報を発信し、海外からの観光客を産地に呼び込もうと、越前漆器の技術をベースに、斬新なデザインや用途に対応した漆製品の開発で、海外のファン開拓と観光誘客を進めるため、慶応大学院連携アメリカ校の院生が河和田に入り調査、外国語表示案

答 子どもの健やかな成長のために、地域における見守りや生活支

援を通じて、社会性、協調性を養うなどの支援の必要な子どもの居場所を作ることは重要。昨今企業や団体で子

ども食堂など居場所づくりを始められている、こうした活動とどう連携できるのか支援方法など研究したい。

環境施策について

問 ごみゼロ、無駄ゼロ・循環型社会の構築に向けた取組は。

答 生ごみの堆肥化は資源として循環、春から取り組む廃プラスチック類の分別資源化、紙類の資源物分別の徹底を図る。

紙おむつのリサイクルも研究をしていく。

旧土木事務所に、太陽光発電設備と備蓄設備を整備、エネルギーの自給率向上と、低炭素な施設管理に努める。



日本共産党

菅原 義信 議員

TPPで鯖江市の農業はどうなるのか

問 TPPに関して、

国の試算とは別に福井県が独自試算を行った。コメ分野では15億2千万円の減収との試算だ。鯖江市ではどの程度になるか。安倍内閣は規模拡大と6次産業化、品質の高い農産物の輸出拡大で農業が成長産業になるなどと言っている。果たしてそんなうまいことになるか。

影響がないということ自体、非常におかしい。国が行った試算は説得力がない。当初の国の説明とは全く変わってしまった。発効まで時間があるので国へ働き掛けていきたい。

新年度予算の中に市民の暮らしを守る視点はあるのか

問 消費税が8%以上

がって1年半が経過してもGDPは連続マイナスで、個人消費は依然回復していない。市の予算を見ると平成27年度3月補正予算と平成28年度当初予算を合わせて4億5千万円を積み増しして財政調整基金を30億円超までに

答市長 重要5品目に

なる。鯖江市への影響を大きく推計すれば、15年後には9千万円の減収になる。

また市債残高は

牧野市長一期目と比べると1/4にまでに減らした。一方で4月からは下水道使用料を値上げし、市民負担を増やす。安倍内閣がうたう「地方創生」も結構だが、市民生活を守る視点からの予算配分がもつと必要ではないか。

答 重点予算としては、27年度と合わせ「地方創生」関連14事業に31億6千万円を計上した。

一めがねのまちさばえ」を世界発信するため「地方創生」に取り組み、地方から世界、国を変える精神の予算を組んだ。これによって「若者が住みたくなくなる 住み続けたくなくなる まちづくり」に正面から取り組んでいきたい。

《第404回 3月定例会》の概要

平成28年3月定例会は、2月24日から3月18日までの24日間の会期で開催。初日2月24日に、平成28年度鯖江市一般会計予算など31議案が提案され、そのうち平成27年度鯖江市一般会計補正予算（第5号）など8件について委員会審査ののち可決しました。また、議員提案の市会案「福野葵議員の辞職勧告に関する決議」を可決しました。

3月4日には議会・行政改革推進特別委員会が開催され、7日・8日には10人の議員が一般質問を活発に行いました。

3月10日・11日には各常任委員会が開催され付託された議案の審査が行われ、15日には総合戦略等特別委員会が開催されました。

3月18日最終日には、本会議において採決が行われ、市長提案の各議案を可決し、同日追加提案されました人事案件3件を同意しました。その後、議長の改選が行われ、小竹法夫議員が第37代議長に選出されました。その後、議会選出監査委員の人事案件に同意しました。

平成28年度当初予算

一般会計 259億1,000万円 可決
(昨年比2億7,400万円増)

特別会計等 205億6,720万円 (昨年比17億4,310万円増)

国民健康保険事業特別会計	76億6,000万円	後期高齢者医療特別会計	6億2,820万円
介護保険事業特別会計	53億5,730万円	総合開発事業特別会計	1,400万円
水道事業会計	21億7,570万円	公共下水道事業会計	41億1,160万円
農業集落排水事業会計	6億2,040万円		

その他の主な議案

平成27年度一般会計補正予算
4億4千940万円

年金生活者等支援臨時福祉給付事業費
《1億8千622万円》

アベノミクスの成果の均てん化のため、賃金値上げの恩恵がおよびにくい低年金受給者等への臨時の給付

財政調整基金積立金

《2億750万円》

年度間の財源不均衡を調整するための基金への積み立て

地方創生加速化交付金事業費

《7千934万円》

産地ブランド力向上支援、伝統工芸とITを生かした地方創生事業、海外展示会出展支援、丹南の伝統工芸の5産地が連携した後継者育成等への補助

委員会議

総務委員会

一般会計予算

問 新年度予算は、過去最大の259億1千万円という予算規模。市税収入では、個人市民税は32億3千100万円、法人市民税は8億8千200万円と、昨年より、大幅に伸びている要因は。

答 個人市民税は給与所得の伸びを2.8%と見込み、法人市民税は平成27年度の決算状況を勘案し、予算措置した。

問 普通交付税が、約1億円の増となつているのは、平成27年国勢調査の人口増887人分の影響なのか。

答 普通交付税の算定における基準財政需要額は、国勢調査に基づく人口や道路延長、児童数など様々な要因を測定単位として算定される。単に人口が増え

れば交付税額が増えるというようなものでもなく、人口の中の年齢などによって算定額は異なる。平成28年度の予算額としては、人口を測定単位としている項目について、人口一人当たりに係る費用を用いて、増加人口で試算した結果、予算計上した。

問 市税延滞金1千700万円について、延滞金の利率と滞納者への対応等の状況は。

答 延滞している税額に対し、年率9.1%の利率がかかる。納税相談手続きなどを行った滞納者に対しては、延滞金を据え置くなどの措置を取っている。

問 人件費について、臨時職員の延べ523人分

の予算計上をされているが、最近の傾向として、募集してもなかなか、予定数を確保できない場合もあると聞か

問 コミュニティバス運行事業について、試

行運転を行い、通勤通学時の運行路線の検証やルートの見直しなどを図るとのことだが、市域を越えた広域連携

問 越前町方面から公立丹南病院・福鉄神明

の公共交通のネットワーク化について、越前町や越前市から連携して取り組みたいとの要望を受けており、今回策定の鯖江市地域公共交通網形成計画に盛り込んだ。



鯖江市防災会議条例の一部改正

問 防災会議委員に自衛官を加えることのメリットは。

答 市内の危険箇所等の情報共有が図れることや災害発生時に派遣要請が円滑に実施できることで、防災体制の強化が図れる。

産業建設委員会

一般会計予算

● 防災拠点施設等再生可能エネルギー導入事業費

問 旧鯖江土木事務所跡に整備する災害拠点施設に、太陽光パネルを設置し、災害発生時の電気の確保や、市庁舎の消費電力として使用できるよう整備することのことが、その費用対効果は。

答 12キロワットを、

常時発電してまかなえる電気料金を勘案しても、事業費の全額を回収することはできない。しかし今回、国の全額補助を受けて整備すること、省エネ活動の啓発推進、また災害時の活動拠点としての非常電源の確保を主に考えていることから、コストだけではない部分が大いいただきたい。

● 農業振興費

問 鯖江の特産物のブランド化についての、現状と支援の取組は。

答 吉川ナスでは外観や食感が他のナスとは大きく違い、特徴ある伝統野菜として差別化がはかられている。認知度も広まり、また栽培技術の向上により品質の良いものが栽培され、1個当たりの単価も当初より上がってきている。また、さばえ菜花米については、食味の向上に特に力を入れており、平成27年産米については、天候に恵まれたこともあり、食味値が向上し消費者に喜ばれていると聞いている。市では儲かる農業をめざして、生産者、関係団体等と共に効果的な取組を進め、鯖江市の農業振興に努めていきたい。

教育民生委員会

政治倫理推進委員会

●田んぼダム事業

問 平成28年度の計画が終了すると、鯖江市の水田面積の約4割の進捗率が見込まれるが、最終的にはどこまで進める考えなのか。

答 田んぼダム事業は非常に重要な治水対策の一つと考えており、賛同いただける地区に対してはすべて実施をしていきたいと考えている。また、市町をまたがる河川流域では、近隣の市町とも連携をとり、この事業を積極的に進めていきたい。

●公園事業費

問 道の駅西山公園では、来場者100万人達成記念式典を計画しているようだが、年間来場者は当初の目標と、実際はどうだったのか。

答 平成26年度目標で20万人としていたところ、実際には52万8千人と、2倍以上の来場

者があった。これを受けて、平成27年度は60万人を見込んだが、2月現在で40万人と若干減少している。

問 西山公園では、現在3つの指定管理者がそれぞれ施設を管理しているが、将来の西山公園全体の運営を考えると、総合的な連携をすることで相乗効果が得られると考えられる。指定管理を一体化する考えはないのか。

答 現在は、施設を設けた時期が違うためそれぞれに指定管理を行っている。しかし、将来の西山公園全体の維持管理運営を考えると、一元化することも念頭に総合的に判断する必要があると認識している。今後各課とも調整を図りながら指定管理のあり方について検討を重ねていきたい。

一般会計予算

●子育て支援費

問 ハーフバースデイ事業や育児訪問事業など健康課と児童福祉課が新たに連携をとって行っていくことになるが、この連携体制はどのように取っていくのか。

答 産まれる赤ちゃんの家庭やお母さんに健康課、児童福祉課、子育て支援センターの3機関が対応するが、最初は健康課に提出する「妊娠届け出」に関わり、その後助産師や保健師が産前産後サポート事業で、その家庭やお母さんの状況を把握する。これに前後し、3機関がそれぞれの事業を展開していくが、事務が錯綜しないよう、それぞれの事業内容を十分把握することが重要であるので、3機関

の打ち合わせを密にしていきたい。また、進めていくためには、各家庭やお母さんの理解が欠かせないので、関わりの中で各事業の趣旨を説明するとともに、理解を得ながら3機関が情報を共有できるように努めていきたい。

●教育振興諸経費

問 ものづくり教育を広めていくには、産業界と先生、また市の商工政策課、教育委員会が集まって協議会のようなものを作る必要があるのではないかと、総合教育会議の中でも課題として取り上げられているが、平成28年度に何か取組をする予定があるのか。

答 担当部署とも協議し、そういった場を設けることを働きかけていきたいと思う。また、学校の先生がたにも、これまでの技術を生か

し他の分野へ進出している企業のことなど、市内の産業界の実情を知ってもらいたい。協議会まで発展できるかはわからないが、情報交換の場を設けるよう努力していきたい。

鯖江市健康づくり推進条例の制定

問 どのようにして、健康づくりを推進していくのか。また、鯖江市独自の健康づくりの施策は？

答 地域の関係団体等との健康づくりについての話し合いの場や健康教室、健康イベントなどで周知をしながら、みなさんと一緒に取り組んでいきたい。また、鯖江市独自の施策としては目の健康づくりに関することを盛り込んでいる点、他団体で見られない点です。

鯖江市選挙管理委員会から告発・書類送検され不起訴処分(起訴猶予)となった事案について、福野葵議員の言動は、公職の身である者としては市民からの信頼を大きく失墜させるものであり、我々鯖江市議会の最高規範である鯖江市議会基本条例第22条および鯖江市議会議員倫理要綱第2条第1項にも違反するものとして委員会全員一致で決し、13ページに掲載しました要約の決議を市会案として本会議に上程しました。

議案と結果

【2月24日提出・同日議決】

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第9号	平成27年度鯖江市一般会計補正予算(第5号)	総務・産建・教民	可決
議案第10号	平成27年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	教育民生	〃
議案第11号	平成27年度鯖江市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第12号	平成27年度鯖江市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設	〃
議案第13号	平成27年度鯖江市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第14号	平成27年度鯖江市水道事業会計補正予算(第3号)	〃	〃
議案第21号	鯖江市長等の給与および旅費等に関する条例および鯖江市議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	総務	可決(多数)
議案第22号	鯖江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	可決

市会案第1号	福野 葵議員の辞職勧告に関する決議	—	可決
--------	-------------------	---	----

【2月24日提出・3月18日議決】

議案第1号	平成28年度鯖江市一般会計予算	総務・産建・教民	可決(多数)
議案第2号	平成28年度鯖江市国民健康保険事業特別会計予算	教育民生	〃
議案第3号	平成28年度鯖江市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃
議案第4号	平成28年度鯖江市介護保険事業特別会計予算	〃	〃
議案第5号	平成28年度鯖江市総合開発事業特別会計予算	産業建設	可決
議案第6号	平成28年度鯖江市水道事業会計予算	〃	〃
議案第7号	平成28年度鯖江市公共下水道事業会計予算	〃	可決(多数)
議案第8号	平成28年度鯖江市農業集落排水事業会計予算	〃	〃
議案第15号	鯖江市消費生活センターの組織および運営等に関する条例の制定について	総務	可決
議案第16号	鯖江市健康づくり推進条例の制定について	教育民生	〃
議案第17号	鯖江市行政不服審査条例の制定について	総務	〃
議案第18号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備について	〃	〃
議案第19号	鯖江市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	〃	〃
議案第20号	鯖江市職員の勤務時間、休暇等に関する条例および鯖江市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	〃	〃
議案第23号	鯖江市防災会議条例の一部改正について	〃	〃
議案第24号	鯖江市介護保険条例の一部改正について	教育民生	〃
議案第25号	鯖江市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準等を定める条例および鯖江市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	〃	〃
議案第26号	鯖江市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	産業建設	可決(多数)
議案第27号	鯖江市民会館設置および管理に関する条例の廃止について	教育民生	可決
議案第28号	福井県市町総合事務組合理約の変更について	総務	〃
議案第29号	総合体育館耐震補強工事(建築工事)請負契約の締結について	教育民生	〃
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度鯖江市一般会計補正予算(第4号))	総務・産建	承認
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて(鯖江市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について)	総務	〃

【3月18日提出・同日議決】

議案第32号	鯖江市公平委員会委員の選任について	—	同意
議案第33号	鯖江市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	〃
議案第34号	鯖江市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	〃
議案第35号	鯖江市監査委員の選任について	—	〃

福野 葵議員の辞職勧告に関する決議（要約）

福野葵議員は、「私が平成27年2月15日から鯖江市に住んでいたということが検察に認められ不起訴になった」という主旨の発言をブログなどで発信している。しかし検察は、4月2日から居住を開始したと認定し、「不起訴（起訴猶予）」という判断をしたと新聞報道でも伝えられている。政治倫理推進委員会（以下、本委員会）による選挙管理委員会への聞き取りでも、検察は「告発がされた、電磁的公正証書原本不実記録罪（刑法第157条第1項）および同供用罪（同法第158条第1項）」「詐偽登録罪（公職選挙法第236条第2項）ならびに詐偽投票罪については、罪は成立しているが加罰はしない。」という不起訴（起訴猶予）処分であるとはっきり言明している。

現職議員が告発された重大な事案の検察判断が出された段階で、市民への丁寧な説明が不可欠であると本委員会は捉えているが、福野葵議員は、市民への説明も「考えていない」と発言している。また、これまでの福野葵議員はオープンデータで様々な情報公開していくと発信していたが、これに反し、自身の都合が悪い情報を隠しているとも捉えられかねない。

議会として、問題が発生した場合には当該議員に対しては、様々な指導や勧告など対応が考えられる。基本的に議員は議会基本条例などを順守し、自身の出処進退は、自身で適切な時期に適切な判断を行い、市民へ報告する義務があると認識している。このことから福野葵議員が説明責任を果たす機会を待っていたが、2月5日の議員への説明会では、結果的に福野葵議員の発言は約4分強程度という短時間で終わり、内容も丁寧な説明とはほど遠いものと、多くの議員が感じてしまう結果であった。また、2月22日の本委員会でも「記者会見は考えていないが、違う方法で説明したい」と言っている。

一方、議員辞職勧告は行うべきではないとの意見もあり、慎重に判断すべき事と認識している。なぜなら、議員は市民の投票で選ばれ任期を得て活動を行うもので、議員の言動に対する評価は、選挙で選挙民が行う事が望ましいからである。また、議員の出処進退は自身が判断し行うべきものであり、したがって、同僚議員が辞職を求める事は基本的には行うべきではないという意見もあった。

しかし、19日間の調査期間中、3日にわたる本委員会審査の結果、鯖江市議会最高規範である鯖江市議会基本条例第22条「議員は、市民の代表としての名誉と品格を損なう行為を慎み、またはその地位を利用して不正の疑惑をもたれるおそれのある行為を慎み、議員としての責務を正しく認識し、議会の一員として、その使命の達成に務めなければならない。」に反しており、容認されるものではない。鯖江市議会の信頼を失墜させるものでもあると判断されるため、福野葵議員に対し、潔く自ら議員の職を辞することを勧告する。

平成28年2月24日

福井県鯖江市議会

議会日誌

3月

25日(金) 福井県後期高齢者医療広域連合議会

4月

22日(金) 広報委員会

25日(月) 議会運営委員会

議会・行政改革推進特別委員会

27日(水) 北信越市議会議長会定期総会

5月

11日(水) 広報委員会

13日(金) 総合戦略等特別委員会行政視察
新北陸トンネル工事現場

19日(木) 丹南地区市町議会議長会定期総会

20日(金) 北陸新幹線建設促進大会総会

25日(金) 議会運営委員会・全員協議会

審議日程

《3月定例会》

2月24日(水)

本会議

提案理由説明

委員長報告 質疑 討論 採決

議会運営委員会

3月 4日(金)

議会・行政改革推進特別委員会

7日(月)

本会議

質疑 一般質問

8日(火)

本会議

一般質問

10日(木)

常任委員会

総務 産業建設 教育民生

11日(金)

常任委員会

総務 産業建設 教育民生

15日(火)

総合戦略等特別委員会

18日(金)

議会運営委員会

総合戦略等特別委員会

本会議

委員長報告 質疑 討論 採決

《第405回 6月定例会日程(予定)》

市議会の日程				CATV放送予定
6月 1日(水)	10時	本会議	(提案理由説明)	生放送
2日(木)				18時(6/1収録分)
10日(金)	10時	委員会	議会・行政改革推進特別	
13日(月)	10時	本会議	(質疑、一般質問)	生放送
14日(火)	10時	本会議	(一般質問)	生放送
※ 15日(水)	10時	本会議	一般質問が14日で終了した場合はありません	生放送
16日(木)	9時30分	委員会	総務、産業建設、教育民生	18時(6/13収録分)
17日(金)	9時30分	委員会	総務、産業建設、教育民生	18時(6/14収録分)
※ 18日(土)			15日に本会議がない場合、放送はありません	18時(6/15収録分)
20日(月)	10時	委員会	総合戦略等特別	
24日(金)	10時	本会議	(委員長報告、採決)	生放送
25日(土)				18時(6/24収録分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

編集後記

地方議会のあり方が問われる昨今、鯖江市議会では、より身近な市民に開かれた議会を目指し様々な改革に取り組んでいます。その一環として市内各地区に伺っての議会報告会を平成25年度から始め、先日は中河・吉川公民館で実施しました。そのほか、これまでには市区長会連合会、市男女共同参画推進員との懇談会に参加するなど、多様な市民の皆さまとの意見交換にも積極的に取り組んでいます。市民の皆様と議会との一方通行ではない双方向での広報・広聴活動を旨とし、皆さまからの貴重なご意見を大切にしながら、今後も活動してまいりますので、ご理解とお力添えをこれからも宜しくお願いたします。

広報委員 帰山 明朝

鯖江市のホームページで本会議録画の動画配信を行っています。

<http://www.city.sabae.fukui.jp/pageview.html?id=30>

また、USTREAM(ユーストリーム)による本会議のリアルタイム放送も行っています。

<http://www.ustream.tv/channel/sabae>

